

令和5年第2回坂祝町上下水道事業経営審議会会議録

1. 開催の日時及び場所

令和5年12月21日（木） 午前9時30分開会
坂祝町役場 3階 大会議室西室

2. 出席委員（敬称略、順不同）

松田賢治、吉澤達哉、竹内治彦、鈴木茂樹、原口かおり、岡崎まゆり（計6名）
※欠席 小西一輝

3. 坂祝町・事務局出席者

事務局 水道環境課 東山課長、三品係長、上杉主任、山口主任

4. 次第

1 開会

2 会議録署名人の指名

3 報告事項

§ 1 前回の振り返りについて

§ 2 農業集落排水事業の公共下水道接続について

§ 3 今後の財政収支見通しについて

§ 4 使用料改定の方針について

4 その他

5 閉会

5. 会議内容

事務局	1. 開会 (課長挨拶)
課長	第2回坂祝町上下水道事業審議会にご出席頂きありがとうございます。本日は、次第で示しますとおり、前回審議会の振り返りから始まり、農業集落排水地区の下水道接続、接続事業を踏まえた今後の収支見通しを説明させて頂き、最後に使用料改定の方針をご検討頂きたいと思っております。よろしくお願いいたします。
会長	2. 会議録署名人の指名 会長から会議録署名人として、松田委員を選出
事務局	3. 会長・報告事項 § 1 前回の振り返りについて 事務局より § 1 について説明
A委員	農業集落排水地区の接続比較結果を受け、町としてどのようにしていきたいのか。方向性について説明してほしい。
事務局	農業集落排水事業は、各地区で処理場を維持していることから、下水道と比較して経営状況が悪い状況です。下水道へ接続することにより、処理場維持管理費分として3,000万円/年程度の削減効果があるため、農業集落排水事業を下水道へ接続し廃止していく方針です。
A委員	農業集落排水事業の接続の順番は変えられないのか。
事務局	議題 § 2 での説明になります。
議長	農業集落排水の下水道接続比較表の概要図のうち、下水道へ接続しない場合の方の下水道の図が必要か。分かりにくいのではないか。
事務局	比較表のうち下水道へ接続しない場合の方は、下水道の処理場(流域処理場)が、接続する地区分の負担増が無いことを接続した場合と比較して示しています。この比較図は、接続有無での差分を対照として示したものです。
事務局	§ 2 農業集落排水事業の公共下水道接続について § 3 今後の財政収支見通しについて § 4 使用料改定の方針について 事務局より § 2・§ 3・§ 4 について続けて説明
A委員	経営の状況について財務指標(財務4表)に基づき、詳しく示すことができないか。
事務局	下水道及び農業集落排水は公営企業会計を導入しているため、損益計算書(3条収支)、貸借対照表、資金収支計算表(4条収支)などは示すことができ

	<p>ますので、個別に説明させていただきます。</p> <p>公営企業における複式簿記の会計は、非常に専門的であり、本審議委員の方全員に同レベルの説明をすることは難しく混乱を招くと判断しました。本日提示の資料は、会計の収支計算より本議題の主旨が伝わるように要約した内容で作成・提示しております。</p>
議 長	<p>委員より公営企業会計の収支分析として、もう少し詳しい資料を要求しています。本日の審議会で提示することは難しいと思いますので、個別説明なり次回の審議での説明で対応してください。</p>
A委員	<p>下水道会計として流動資産（内部留保金）などがどのくらいあるのか示して、使用料改定が必要か否かを議論すべきなので、精査してほしい。基金の有効活用を考えてほしい。</p>
議 長	<p>使用料改定の議論はありますが、まずは、農業集落排水地区の廃止及び接続、優先順位の設定理由、財政的なメリットなどの議論については、ご理解よろしいでしょうか。</p> <p>では、使用料改定の方針について、そもそも本審議会で議論する必要があるのか否かを確認したいと思います。</p>
A委員	<p>実状を理解したうえで料金改定の必要有無を判断するためには、本審議会などで皆さんと審議することは、必要であると考えます。</p>
議 長	<p>事業として資産があり、その資産を活用すれば料金の引き上げの幅や改定実施の有無などの議論が可能ではないかということです。本日の資料では、その点が見えてこないため、深掘りして検討するうえで、もう少し会計の内容が分かる資料で議論していく必要があるというご意見を頂きました。</p>
C委員	<p>料金の値上げは、本町だけの問題では無いと思う。本日の収支の資料で、使用料収入で賄えていないことは明確であり、町として独立採算を重視するのであれば、料金の値上げは、やむを得ないと考える。</p>
D委員	<p>世の中の状況を見ても、料金の値上げは、やむを得ないと考えるが、料金改定を前提とするならばバランスシート（BS 貸借対照表）を示して議論すべきではないか。そのうえで、一気に値上げするのか、定期的実施するのか、どこでストップするのかを決める必要があると考える。</p> <p>また、目標としている経費回収率 80%以上の根拠はなにか。</p>
E委員	<p>農集地区の下水道接続の必要性や使用料改定の必要性は分かりましたが、現在経営は安定しているのか。今後、いろいろな事業があるから、このような使用料改定が必要である議論が行われているのか。R27 以降安定すると言っているが、将来、同じような問題が発生しないのか。</p> <p>また、使用料の改定により具体的に家庭にどのくらいの負担となるのか。受益者負担金は変わらないのか。</p>

事務局	<p>D委員よりご質問のありました経費回収率80%目標値の根拠は、町の方針として独立採算で最終的100%の達成を目指すものと考えます。現状が、60%程度であることから中間値で設定しています。これは、将来的に現金支出を伴う維持管理費と支払い利息分を確保するレベルと考えています。</p> <p>E委員の、ご質問についてですが、会計の状況としては、汚水処理の事業は、不足分を一般会計からの繰入に依存しています。この繰入金を減らすことが目的で今回の使用料改定の方針を打ち出しています。また、仮に5%改定した場合、一般家庭（使用水量25m³/月）で190円/月程度の値上げになります。なお、受益者負担金については、現状の設定のままで考えています。</p> <p>会計の状況は、安定しているわけでは無く整備が概成した現在も繰入金に依存してきています。今後、収支ギャップが拡大し、繰入金の依存もこのまま継続されていくため使用料改定による収入増により経営状況の改善を図りたいものです。</p>
F委員	<p>下水道接続の必要性や使用料改定の必要性（繰入金削減のため）も理解しました。</p>
議長	<p>料金改定が必要なことは、委員の皆さんの意見が一致していることかと思いません。</p> <p>一般会計繰入金を全くゼロにすることは、他の自治体の事例を見てもあまり無いことなので、何がなんでもそこを目標とする必要性はないのではないかと。今後20年間の農業集落排水地区の接続に要する支出を補うために料金改定をしてもよいのではないかと。</p> <p>ただ、事業のストック（基金）を利用して料金改定の実施有無、値上げ幅などを議論する必要があるという意見かと思えます。次回、より詳細な資料にて議論したいと思えます。</p>
事務局	<p>4. その他</p> <p>今後のスケジュールは下記を予定しています。日時確定次第、連絡・調整致します。（第3回 令和6年2月中旬開催、第4回 令和6年4月中旬開催）</p> <p>今回の審議結果に基づき次回第3回の審議内容を調整致します。</p> <p>なお、第1回の審議会議事録を配布しました。ご確認頂き、不明点などがございましたら、事務局に問い合わせをお願いします。</p>
事務局	<p>5. 閉会</p> <p>本日は慎重にご審議いただきまして、誠にありがとうございました。お気を付けてお帰りください。</p>

6. 閉会の日時 令和5年12月21日（木） 午前10時40分